

天下泰平を願う

家康と磐田

徳川家康、江戸幕府260年余りの礎を築き、日本の歴史上にもその名を刻んだ偉人です。

天下泰平を願い、戦国の争乱を生き抜いた家康は、やがて来たる世紀の決戦に向け磐田市でも戦略を立てたと伝わります。

その時代背景をはじめ、舞台ともいべき「中泉御殿」の実像について、戦国史を代表する専門家らによる解説と、クロストークを交えながら家康ゆかりの歴史遺産を学び、郷土への誇りにつなげることを目的に講演会を開催します。

世紀の決戦に向けたその戦略



令和6年 12月15日(日)

13時00分～

磐田市竜洋なぎの木会館

定員/800人(定員を上回る場合は抽選)

参加費/無料

申込方法/①Web(ログフォーム)申込

②往復はがき

のいずれかでお申込みください
※両方で申込みはご遠慮ください

詳しくは裏面をご覧ください

講師紹介



(撮影・今井一詞氏)

小和田 哲男 氏
静岡大学名誉教授



三浦 正幸 氏
広島大学名誉教授



加藤 理文 氏
磐田市文化財保護審議会副会長
日本城郭協会理事

厭離穢土欣求淨土



天下泰平を願う家康と磐田

「世紀の決戦に向けたその戦略」

講師紹介



(撮影・今井一詞氏)

小和田 哲男 氏 演題「徳川家康と磐田 - 中泉御殿を中心に -」

静岡大学名誉教授 日本城郭協会理事長、文学博士。
日本の戦国期研究の第一人者。NHK大河ドラマ「どうする家康」、
「おんな城主直虎」、「秀吉」などの時代考証を担当。
「徳川家康 知られざる実像」(静岡新聞社 2022年)、「戦国城郭に
秘められた呪(まじな)いと祈り」(山川出版社 2022年)、「地図で
めぐる日本の城」(帝国書院 2023年)ほか著書及び監修多数。
YouTube「戦国・小和田チャンネル」も配信中。



三浦 正幸 氏 演題「中泉御殿～家康のお城のような宿館～」

広島大学名誉教授 工学博士、一級建築士。
専門は日本建築史、城郭史。全国の歴史的建造物を設計・復元。
NHK大河ドラマ「光る君へ」、「どうする家康」、「鎌倉殿の13人」
などの建築考証を担当。
「図説 近世城郭の普請 石垣編」(原書房 2024年)、「図説 近世城
郭の作事 天守編」(原書房 2022年)、城のつくり方図典(小学館
2005年)ほか著書多数。



加藤 理文 氏 演題「発掘調査・地籍図から見た中泉御殿」

磐田市文化財保護審議会副会長、日本城郭協会理事、文学博士。
城郭考古学の専門家。
「家康と家臣団の城」(KADOKAWA 2021年)、「織田信長の城」(講談社
2016年)、「静岡の城：研究成果が解き明かす城の県史」(サンライ
ズ出版 2011年)ほか著書多数。

申込方法

①Web(ログフォーム)申込 ②往復はがき のいずれかでお申込みください

※両方で申込みはご遠慮ください

①Web(ログフォーム)申込

- QRコードからお申込みください
- 応募締切/令和6年11月20日(水)
- 当選通知/令和6年12月5日(木)までに
メールにて当選をお知らせします

Web申込みはこちらから



②往復はがき

- 往復はがきに氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を記入して下記
へお送りください(1枚につき2名まで)
- 送り先/〒438-0086 磐田市見付 3678-1 磐田市文化財課
- 応募締切/令和6年11月20日(水)
- 当選通知/令和6年12月5日(木)までに返信用はがきに当選をお知らせします

アクセス

磐田市竜洋なぎの木会館

〒438-0231 静岡県磐田市豊岡 6605-3

- 車
<国道150号を利用される場合>
天竜川に架かる「掛塚橋」東の交差点から東へ1.5km→「竜洋
中学入口」交差点を北方面へ→1つ目の信号機を越え200m、
左手に竜洋体育センターのある交差点を斜め左方向へ→200m
で竜洋なぎの木会館の前になります。
- <国道1号線を利用される場合>
国道1号・森岡ICを下り、南方面へ3km→東海道線新幹線のガードの次の信号を右折、南西方面へ1.5km→2つ目の信号「堀之内」
交差点を左折700m「セブンイレブン」と「タカギセイコー」の
ある交差点を左折→500mで竜洋なぎの木会館の前になります。

- 路線バス
<遠鉄バス>
JR浜松駅から掛塚さなる台線乗車
「金洗西」バス停下車。北東へ約1.5km、徒歩約20分

